



## 感染性廃棄物を排出する時の注意点

5月に感染性廃棄物室のラウンドをおこなったところ感染性廃棄物の梱包に問題がありましたのでお知らせします。梱包後排出する際には以下の点に注意をしてください。



きっちり  
閉まっていない

蓋は最後までしっかりと閉めてください。

四隅が閉まりにくいので木づちなどでたたいてください。



段ボールの破損

設置中に何かがぶつかって破損したのではないかと考えられます。二重のビニールにくるまれてはいますが回収業者が曝露する恐れがありますので破損しないようご注意ください



## 閉鎖式吸引器が変わります

新型コロナウイルス感染が拡大していますが感染対策では飛沫感染予防が重要です。特に吸痰時にはしぶきが飛び、曝露するリスクが高いため、吸痰実施の際に感染防御策を徹底することが必要です。当院では、吸引器は基本開放式が採用されており、閉鎖式吸引器は一部導入されています。現在の吸引瓶は吸引物を廃棄する時、瓶を外さなくてはならず、瓶を装着するときにきちっとしまっていないと落下し、内容物に曝露したり、足を怪我する恐れがあります。新たな閉鎖式吸引器の利点は①壁に付けたままボタンを押すだけでボトルが開き、ライナー交換が簡単に行えます。ボトルが手前になるので、ライナー交換時の吸引器本体の落下を防ぐことができます。②重さも軽く、ライナーもコンパクトになっており、置き場所も少なくすむなどです。そのため吸痰施行時の感染リスクを減少させ、閉鎖式を導入することで、吸痰瓶洗浄工程を無くし、体液接触の機会を減少させることにつながります。5階西病棟の試験運用の際には、体液に接触することなく破棄できると好評でした。

